

令和 8年 3月 24日

瀬戸内市議会議長

小野田 光 様

瀬戸内市議会議員 谷 美香

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期間	令和 8年 2月 3日 ~ 令和 8年 2月 4日
研修会名	令和8年度予算審議集中講座
開催場所	USB動画データ
研修目的・内容	<p>この講座では、地方自治体の財政の基本と、予算審議における議会の役割について学びました。</p> <p>自治体財政は、少子高齢化や人口減少による税収減に加え、人件費や社会保障費、公共施設の維持管理費の増加などにより厳しさを増しています。特に、毎年必要となる経常経費が大きな割合を占めるため、新たな政策に充てられる財源は限られている現状が示されました。</p> <p>その中で、財政運営の基本として「収入の範囲内で支出を行うこと」「予算は議会の議決を経て執行されること」の重要性が強調されました。また、限られた財源の中で新たな政策を実施するためには、既存事業の見直しと優先順位付けが不可欠であり、将来のまちの姿（ビジョン）に基づいた予算編成が求められるとされました。</p> <p>さらに、政策の効果を検証するためには、目的や成果を明確にし、論理的な因果関係に基づいて説明できることの重要性についても学びました。</p>



所感

今回の講義を通じて、「財政が厳しい」という言葉の背景には、単なる収入不足ではなく、支出構造や意思決定のあり方が大きく関わっていることを改めて認識しました。

また、予算は単なる数字ではなく、「どのようなまちを目指すのか」という意思の表れであり、その優先順位の付け方が極めて重要であると感じました。限られた財源の中で何を残し、何を見直すのかという視点を持つことの必要性を強く認識しました。

議会における役割としては、単に是非を判断するだけでなく、政策の目的や効果を丁寧に確認し、市民に分かりやすく伝えていくことが重要であると感じました。対話を通じて理解と納得を深めることが、より良い行政運営につながると考えます。

今回の学びを今後の議会活動に活かし、将来を見据えた視点での政策判断と、市民への分かりやすい情報発信に努めていきたいと思えます。